



国土交通省では、「生産性革命」の20のプロジェクトを選定。平成29年度は、生産性革命「前進の年」として省をあげて取り組み、リーディングプロジェクトとしてのi-Constructionの推進により、建設現場の生産性向上を加速。今年度は、土工以外の分野としてICT 舗装を取り込むこととしています。

北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

今年度1回目の『i-Construction推進本部会議』を平成29年5月22日(月)に開催し、平成29年度の実施方針を決定しました。

<ICT技術の活用>

- ・ICT土工工事の規模の大きな工事(50,000m³以上)は、発注者希望型に拡大。
- ・ICT舗装工事(路盤工を含む)とICT浚渫工事を新規に導入。
- ・「入門者クラス」と「実践者クラス」の2タイプに分けて、ICT活用工事講習会を実施。
- ・自治体職員の参加も可能とした、研修や臨場検査を実施。
- ・H30年度以降に予定のICT活用工事(ICT土工・舗装工等)を対象に、CIMの「3次元測量・設計」を実施。



<規格の標準化>

- ・大型コンクリート構造物でのプレキャスト製品活用の促進(予備設計段階から比較検討、実施工との比較検証)
- ・事例集の充実等

<施工時期の平準化>

- ・ゼロ国債や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。
- ・四半期毎に、地整全体、事務所単位、ブロック単位で「平準化」を把握
- ・地整内連絡会において情報を共有するとともに、今年度は特に設計業務関係の前倒し等の方策を検討。

本号の掲載内容

ICT技術の活用	基準類の改定内容整理、ICT活用工事講習会開催
規格の標準化	なし
施工時期の平準化	なし

基準類の改定内容をわかりやすく整理しました。

・ICT土工の改訂も含めた最新の基準類(ICT舗装の新基準含む)を一覧にてわかりやすく整理しました。HPでも閲覧可能です。

【H29年度の技術基準と積算要領を改訂】

- ・実践を踏まえた課題への対応
 - 7の技術基準と積算要領の改訂
- ・小規模工事への適用拡大、更なる効率化をもたらす新技術を活用
 - 12の技術基準類を新設・改定
- ・ICT舗装の新基準
 - 10の技術基準類を新設・改定

ICT土工における基準類の改訂について(H28~H29)

年度	基準番号	名称	改訂内容	備考
H28年度	1	道路用コンクリート舗装工事(1)
	2	道路用コンクリート舗装工事(2)
	3	道路用コンクリート舗装工事(3)
	4	道路用コンクリート舗装工事(4)
	5	道路用コンクリート舗装工事(5)
	6	道路用コンクリート舗装工事(6)
	7	道路用コンクリート舗装工事(7)
	8	道路用コンクリート舗装工事(8)
	9	道路用コンクリート舗装工事(9)
	10	道路用コンクリート舗装工事(10)
H29年度	11	道路用コンクリート舗装工事(11)
	12	道路用コンクリート舗装工事(12)
	13	道路用コンクリート舗装工事(13)
	14	道路用コンクリート舗装工事(14)
	15	道路用コンクリート舗装工事(15)
	16	道路用コンクリート舗装工事(16)
	17	道路用コンクリート舗装工事(17)
	18	道路用コンクリート舗装工事(18)
	19	道路用コンクリート舗装工事(19)
	20	道路用コンクリート舗装工事(20)



ICT活用工事講習会(入門者クラス)を3県で開催

「ICT技術の全面的な活用」を促進するため、建設業、測量、設計コンサルタント等の技術者、官公庁職員を対象にICT活用講習会を新潟県・富山県・石川県の3県で開催しました。

本年度は、昨年度のアンケートを踏まえ、ICT活用工事の経験がない技術者を対象とする「入門者クラス」と、ICT活用工事経験者を対象とした「実践者クラス」に分け、対象受講者に合わせたわかりやすい講習会となるよう工夫。

「入門者クラス」については、ICT活用工事の経験の無い技術者を対象に、ICT施工に関する基礎知識や基準・要領の解説を中心とした講義としました。

約500人が参加

・石川県 5月23日 127人
会場 石川建設総合センター
・富山県 5月24日 122人
会場 富山防災センター
・新潟県 5月25日 250人
会場 AM 新潟県建設会館
PM 新潟防災センター



<講義内容>

北陸ICT戦略推進委員会の各構成団体から協力を得て、講師を派遣。

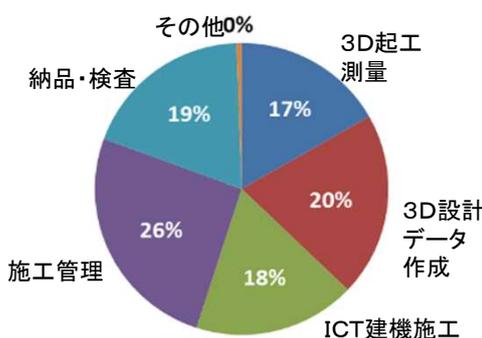
- ① ICT活用の概要
講師:北陸地方整備局企画部 技術検査官
- ② 各種基準・要領の説明
講師:(一社)日本建設機械施工協会i-Con普及WG
- ③ 地上レーザスキャナとUAVの機器説明
講師:(一社)全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会



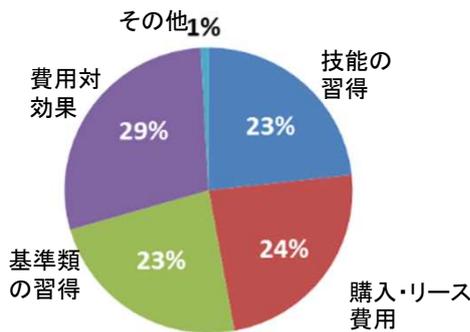
<実施結果>

ICT施工技術に対する関心が非常に高く、多くの受講者が熱心に耳を傾けていた。

アンケート結果では、面管理となる出来形管理等の施工管理について、より詳しく知識を習得したい傾向が見受けられた。また、費用対効果や測量機器・重機の導入など経済的な不安を感じている声が5割を超えており、今後、導入効果の検証及びICT施工のメリットが引き出せるよう更なる検討が必要である。



もっと知りたい施工プロセス



ICT活用に際し不安な面



<今後の予定>

2次元から3次元データ変換やTLS機器操作など、実技を中心とした「実践者クラス」の講習会を7月下旬に開催を予定しています。

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官 (2118)
企画部 技術管理課長 (3311)
企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel.025-280-8880(代)